

あとがき

第三帖の注釈をお届けする。二〇一二年三月に、お茶の水女子大学付属図書館の E-book サービスにより、WEB に掲載した第一帖、同じく二〇一四年七月に掲載した第二帖に続くものである。底本、凡例などに変更はない。

公刊の方法としてとった WEB への掲載は、環境さえ整えば世界のどこでも無償で読めること、オンデマンドにより製本も入手できること（これは有償）、これらが評価され、二〇一三年、国立大学図書館協会の表彰を受けた。

電子媒体と紙媒体はそれぞれ長所があるが、近年、前者の広がり、めざましく、古今和歌六帖の十三の伝本を一覧できる翻刻が CD として発表された。『古今和歌六帖の本文と享受に関する総合的研究』（代表研究者 黒田彰子 科学研究費基盤研究（C）平成22年度～25年度）がそれである。現存する伝本はすべて江戸時代以降のものであって、それ以上遡れないこと、永青文庫本は同一親本から転写された桂宮本、御所本と対比しながら用いることで、現存最善本の位置にあると結論する。我々の底本の選定、対校する写本の選定の判断と一致する。研究者であれば、それぞれの写本、版本、複製本ないしは写真版を見るはず、という前提にたち、

底本の書き入れを含め、なるべくその現状が再現できるよう翻刻しているが、このCDは伝本間の比較対照に参考となる。

第三帖は次のメンバーが作成した。担当順に

長戸千恵子・*青木太朗・*犬養悦子・尾高直子・*三浦狭依・杉本まゆ子・平野由紀子

斎藤熙子・加藤静子・中野方子・山下道代・久保木哲夫・諸井彩子・林マリヤ・

*市東奈々・原山絵美子・*橋本智美・吉田優子・山村英理子

である（*は退会者）。

輪読会は今年で十一年を迎え、会員も変化した。五首ずつ担当することは変わらないが、発表者がそのまま清書するとは限らない。担当者名が二つある場合、前者が発表したレジュメを参考にしながら、後者の文責で清書している。二〇一四年一月に永眠した三浦狭依さんの第三帖への寄与は大きく、校正および清書は他のメンバーに委ねられた。連名はその間の事情を物語るものである。

二〇一六年三月二四日

平野由紀子

古今和歌六帖全注釈 第三帖

2016年7月20日 初版発行

著 者 古今和歌六帖輪読会

発 行 お茶の水女子大学附属図書館(E-book サービス)

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

<http://www.lib.ocha.ac.jp/>

電話 03-5978-5835 FAX 03-5978-5849

ISBN978-4-904793-20-6 C3092

本著作の著作権は著者が保持しています。著作権法上の著作権の制限を超える利用については、お茶の水女子大学附属図書館にお問い合わせください。